

ガイドホンCD7Dに、下記の機能を追加しました。

- ◆「モードLEDによるインターホン・Aグループ・Bグループの状態表示」が可能になりました。

モードLED：インターホンモード時 点灯●、Aグループモード時 点滅○●、Bグループモード時 消灯○

- ◆「外部からの制御によるインターホン・A(orB)グループの切替え」、および「外部からの制御によるAグループ・Bグループの切替え」が可能になりました。

追加されたシステムデータの登録エリア[A95]を設定することで、それぞれの切替えを実現できます。

A95 = 00 (初期値)

0: SW-BOX2 コネクタに CD7D-1S SW-BOX(別売)を接続して、
モード切替えを実行するとき

1: SW-BOX2 コネクタに市販の切替えスイッチ、または他装置の接点を接続して(外部からの制御)、Aグループ・Bグループのモード切替えを実行するとき

0: SW-BOX1 コネクタに CD7D-1S SW-BOX(別売)を接続して、
モード切替えを実行するとき

1: SW-BOX1 コネクタに市販の切替えスイッチ、または他装置の接点を接続して(外部からの制御)、インターホンモード・ガイドホンモードの切替えを実行するとき

※ ガイドホンモードからインターホンモードに切替えた場合でも、電源リセットするまで AorB グループの属性は保持していて、再びガイドホンモードとなったときには、保持していた属性で復帰します。

<例. 外部からの制御により、Aグループ・Bグループを切替える場合>

SW-BOX2コネクタに対し、下図のように配線を行い、システムデータを、A95=01として下さい。

このとき、ブレーク(OFF)でAグループ、メーク(ON)でBグループに切替わります。

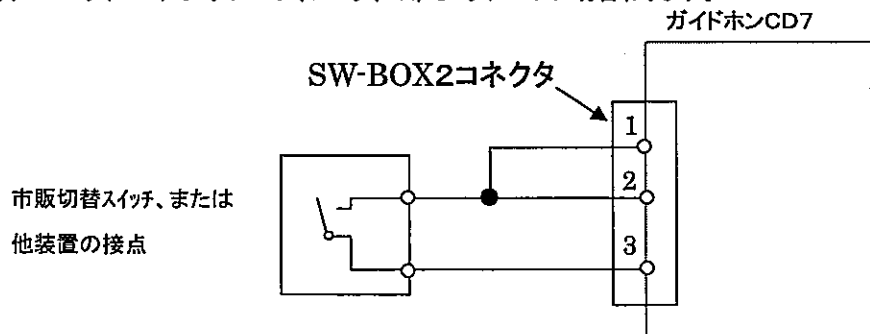


図1. 配線方法

⇒次ページへ

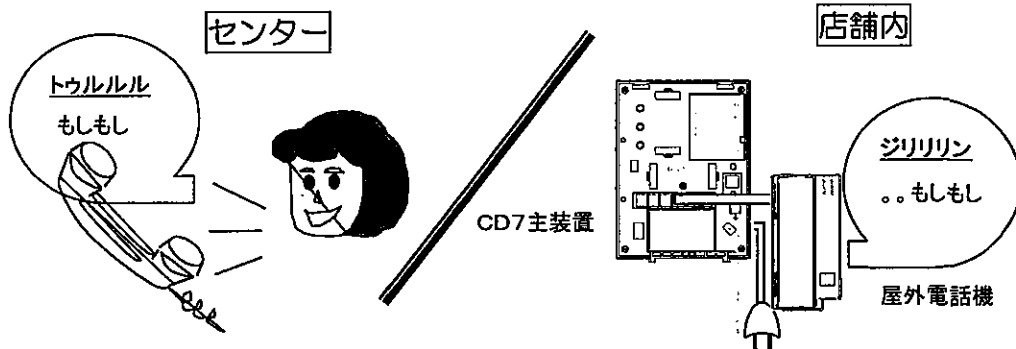
◆「音声呼び時の屋外電話機チャイム音を“ジリリリン”と設定することが可能になりました。

追加されたシステムデータの登録エリア【A96】を設定することで、切替えを実現できます。

A96 = 0 (初期値)

- 0: 音声呼び時に屋外電話機スピーカより、チャイム音 “ピンポン” を送出
- 1: 音声呼び時に屋外電話機スピーカより、チャイム音 “ジリリリン” を送出
- 2: 音声呼び時に屋外電話機スピーカより、チャイム音 “ジリリリン” を2回送出

<例. チャイム音を“ジリリリン”と設定した場合>



◆「通報宛先の電話番号にダイヤルポーズを挿入することが可能になりました。

追加されたシステムデータの登録エリア【A10、A14～16、A24～26、A44～46】を設定することで、実現できます。

<例. Aグループモードでのダイヤル動作(第一宛先への通報)>

ガイドホンCD7が回線を補足 ⇒ A14の付加番号をダイヤル ⇒ A10のポーズを挿入 ⇒ A11の電話番号をダイヤル

※ 第二宛先(A12)にはA15が、第三宛先(A13)にはA16の付加番号が対応する。

登録エリア	設定項目	登録番号	設定値	備考
A10	ポーズ時間設定 A、B、Dグループ共通	0	0.5S	※付加番号を設定しないと無効
		1	1S	
		2	3S(初期値)	
A11	通報宛先設定	電話番号	—	最大32桁
A12	Aグループ	”	—	
A13	”	”	—	
A14	ポーズ付加設定	A11の付加番号	—	最大16桁 ※ポーズ機能を使用しないときは設定しない
A15	Aグループ	A12の付加番号	—	
A16	”	A13の付加番号	—	
A21	通報宛先設定	電話番号	—	最大32桁
A22	Bグループ	”	—	
A23	”	”	—	
A24	ポーズ設定	A21の付加番号	—	最大16桁 ※ポーズ機能を使用しないときは設定しない
A25	Bグループ	A22の付加番号	—	
A26	”	A23の付加番号	—	
A41	通報宛先	電話番号	—	最大32桁
A42	Dグループ	”	—	
A43	”	”	—	
A44	ポーズ設定	A41の付加番号	—	最大16桁 ※ポーズ機能を使用しないときは設定しない
A45	Dグループ	A42の付加番号	—	
A46	”	A43の付加番号	—	

がイホン CD7D 主装置の追加機能設定について

① ダイヤルホーズ機能

ダイヤルホーズ機能を使用する場合、通常の通報宛先設定のほかに、新設された登録エリア「A10：ホーズ時間、A14～A16：Aグループ通報宛先の付加番号、A24～A26：Bグループ通報宛先の付加番号、A44～A46：Dグループ通報宛先の付加番号」の設定が必要です（表1を参照）。その設定手順を以下に記載します。

【設定手順】

① ホーズ時間を設定

⇒ 初期値は2（3秒）が設定されており、必要であればA10の値を0（0.5秒）、1（1秒）へ変更する。すべての通報宛先に対し共通の値が適用されるので注意する。

② ホーズ前のダイヤル（付加番号）を設定

⇒ Aグループの第一通報宛先をダイヤルする前に付加したい番号をA14へ、第二通報宛先に付加したい番号をA15へ、第三通報宛先に付加したい番号をA16へ設定する。

Bグループの場合はA24、A25、A26へ、Dグループの場合はA44、A45、A46へ、それぞれ付加したい番号を設定する。

③ ホーズ後のダイヤル（通報宛先番号）を設定

⇒ A11～A13、A21～A23、A41～A43へ通報宛先番号を設定する。

設定が正しく行われると、CD7D主装置は以下のダイヤル発信を行います。

回線補足→ 通報宛先に対応した付加番号をダイヤル→ A10のホーズ時間だけ待機→ 通報宛先番号をダイヤル

表1. 通報宛先番号の設定

登録エリア	設定項目	登録番号	設定値	備考
A10	ホーズ時間設定 A,B,Dグループ共通	0	0.5S	※付加番号を設定しないと無効
		1	1S	
		2	3S(初期値)	
A11	通報宛先設定	電話番号	—	最大32桁
A12	Aグループ	〃	—	
A13		〃	—	
A14	ホーズ付加設定	A11の付加番号	—	最大16桁
A15	Aグループ	A12の付加番号	—	※ホーズ機能を使用しないときは設定しない
A16		A13の付加番号	—	
A21	通報宛先設定	電話番号	—	最大32桁
A22	Bグループ	〃	—	
A23		〃	—	
A24	ホーズ設定	A21の付加番号	—	最大16桁
A25	Bグループ	A22の付加番号	—	※ホーズ機能を使用しないときは設定しない
A26		A23の付加番号	—	

A41	通報宛先	電話番号	—	最大 32 桁
A42	Dグループ	〃	—	
A43		〃	—	
A44	ホース設定	A41 の付加番号	—	最大 16 桁
A45	Dグループ	A42 の付加番号	—	※ホース機能を使用しないときは設定しない
A46		A43 の付加番号	—	

② 音声呼び時の屋外電話機チャイム音

音声呼び時の屋外電話機チャイム音を「ジリリン」とする場合は、新設された登録エリア「A96」の設定が必要です（表 2 参照）。

「A96」の初期値は 0（ピンポン）が設定されており、必要であれば 1（「ジリリン」を 1 回送出）、または 2（「ジリリン」を 2 回送出）を設定します。

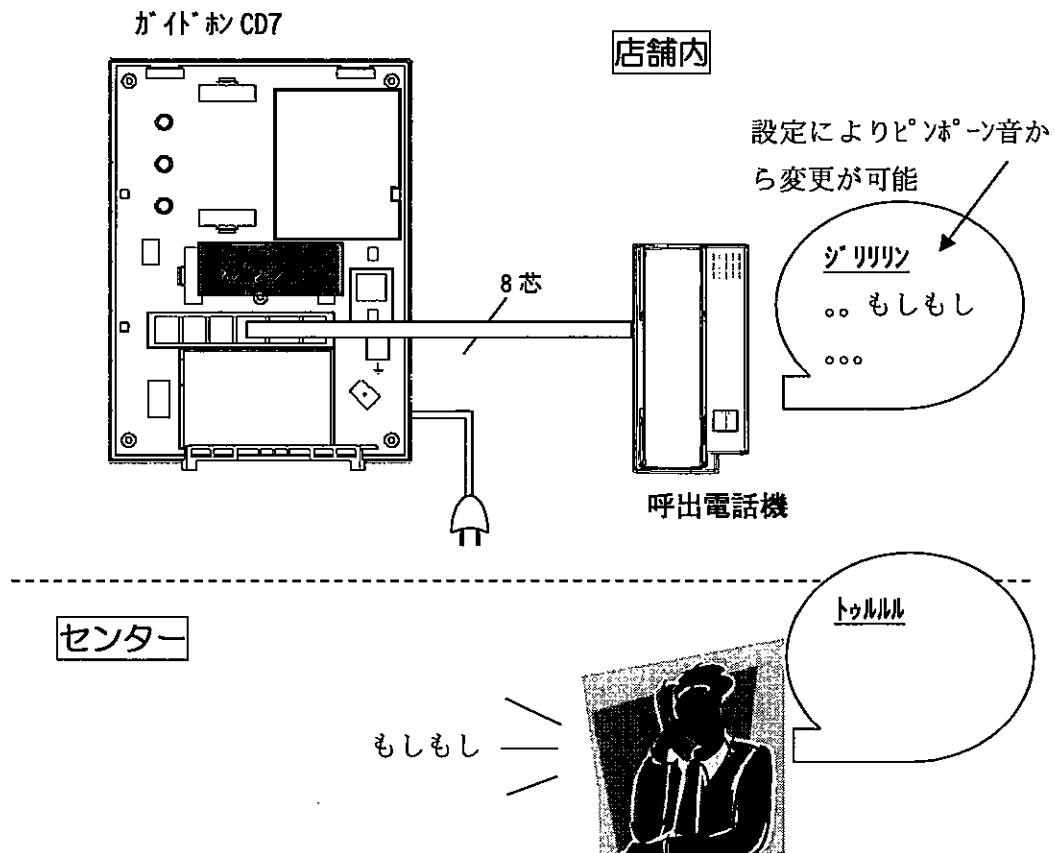



表 2. 屋外電話機チャイム音の設定

登録エリア	設定項目	登録番号	設定値
A96	屋外電話機のチャイム音 (音声呼び時)	0 (初期値)	ピンポン
		1	ジリリン×1回
		2	ジリリン×2回

ガイドホンCD7Dのシステムデータ一覧表

システムデータ一覧(☆印部は、本体シリーズ番号「1. 7」以降のみ対応)

設定項目	登録番号	設定値	初期値	機能詳細
☆ A10 ポーズ時間設定 A,B,Dグループ共通	0 1 2	0:5秒 1秒 3秒	2	付加番号+ポーズ+連絡宛先番号をダイヤルする際のポーズ時間を登録します。 (注意:付加番号を設定したときのみ有効になります。)
A11 連絡宛先設定 Aグループ	— — —	第1宛先 第2宛先 第3宛先	未設定	連絡先の電話番号を登録します。最大32桁、0~9が登録可能です。 付加番号の最大登録桁数は16桁です。 (注意:ポーズ機能を使用しないときは設定しないで下さい。) A14~16、A24~A26、A44~A46の付加番号を設定すると、付加番号と連絡宛先番号の間に自動的にダイヤルポーズが入ります。ポーズ時間はA10で設定した時間になります。
☆ A12 Aグループ	—	—	—	
☆ A13 Aグループ	—	—	—	
☆ A14 付加番号設定 Aグループ	—	A11の付加番号	—	
☆ A15 Aグループ	—	A12の付加番号	—	
☆ A16 Aグループ	—	A13の付加番号	—	
A21 連絡宛先設定 Bグループ	— — —	第1宛先 第2宛先 第3宛先	—	
☆ A22 Bグループ	—	—	—	
☆ A23 Bグループ	—	—	—	
☆ A24 付加番号設定 Bグループ	—	A21の付加番号	—	
☆ A25 Bグループ	—	A22の付加番号	—	
☆ A26 Bグループ	—	A23の付加番号	—	
A41 連絡宛先設定 Dグループ	— — —	第1宛先 第2宛先 第3宛先	—	
☆ A42 Dグループ	—	—	—	
☆ A43 Dグループ	—	—	—	
☆ A44 付加番号設定 Dグループ	—	A41の付加番号	—	
☆ A45 Dグループ	—	A42の付加番号	—	
☆ A46 Dグループ	—	A43の付加番号	—	
A51 屋外電話機個別 IDコード	— — — —	No.1 IDコード No.2 IDコード No.3 IDコード No.4 IDコード	未設定	屋外電話機の個別IDコードを登録します。最大16桁、0~9、#が登録可能です。 (「#」は呼出電話機の呼出ボタンを押すと登録できます)
A52 IDコード	—	—	—	
A53 IDコード	—	—	—	
A54 IDコード	—	—	—	—
A59 着信応答時IDコード	—	—	—	—
A50 屋外電話機共通 IDコード	—	—	—	—
A60 暗証番号	—	—	未設定	4桁。未登録の場合、テレホン機能およびオンラインによるシステムデータの設定・変更および確認ができません。自動応答モードにおいて、応答後屋外電話機の一斉音声呼出になります。
A70 第1連絡宛先 呼出時間	0 1	40秒 60秒	0	自動ダイヤル後、相手が応答するまでの時間を設定します。本時間内に応答しなかった場合、次の宛先を呼出します。
A71 第2連絡宛先 呼出時間	0 1	40秒 60秒	0	
A72 自動切替タイマ (インターホン→A,B) □1:インターホン→A □2:インターホン→B	0□ 1□ 2□ 3□ 4□	10秒 15秒 20秒 30秒 切替なし	41	インターホン機能で屋内電話機を呼出しても応答しない場合、インターホン機能に移行するまでの時間です。切替えなしの場合、屋内電話機が応答するまで呼続けます。

設定ID	設定項目	登録番号	設定値	初期値	機能詳細
A73	自動応答遅延時間 (ガイトホン機能)	0 1 2 3	即応答 10秒 20秒 30秒	0	ガイトホン機能において、連絡先からの着信に対し応答するまでの時間を設定します。
A74	自動応答遅延時間 (インターホン機能: 自動切替なしの場合)	0 1 2 3	即応答 10秒 20秒 30秒	1	インターホン機能で、A72 で切替なしを選択した場合において、連絡先からの着信に対し応答するまでの時間を設定します。
A75	自動応答遅延時間 (インターホン機能: 自動切替ありの場合)	0 1 2 3	即応答 10秒 20秒 30秒	1	インターホン機能で、A72 で切替ありを選択した場合において、連絡先からの着信に対し応答するまでの時間を設定します。
A76	自動応答復旧時間	0 1 2 3	30秒 60秒 180秒 360秒	0	自動応答モード、テレコン機能において、暗証番号や各種番号を入力する際の制限時間を設定します。本時間を経過すると回線を開放します。
A77	長時間通話監視時間	0 1 2 3	10分 20分 30分 監視しない	3	屋外電話機と連絡先との通話時間を規定します。本時間を経過すると、終話予告音が送出されます。通話延長しないと通話を終了します。
A78	センサ入力検出遅延 時間 	0 1 2 3	遅延なし 5秒 10秒 20秒	00	各種センサからの異常信号に対し、設定した時間以上連続して入力があった場合、有効と判断します。遅延なしの場合、連続0.3秒以上の入力にて有効と判断します。
A79	IDコード送出回数	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	0回 1回 2回 3回 4回 5回 6回 7回 8回 9回 10回	2	登録した ID コードの送出回数を設定します。0回と設定した場合、即通話に移行します。
A80	接続済み屋外電話機 No.	1 2 3 4	屋外電話機1 屋外電話機2 屋外電話機3 屋外電話機4	1	接続されている屋外電話機 No.を設定します。実際に屋外電話機が接続されていても、本設定と一致していなければ使用できません。
A81	IDコード送出方式	0 1 2	音声 DTMF DTMF+音声	000 000 000	ガイトホン機能で ID コードを送出する方式を設定します。自動応答、テレコン機能時の ID コードは、必ず音声にて送出します。
A82	屋内電話機→ 屋外電話機呼出方式	0 1	音声 信号	0	インターホン機能で、屋外電話機の呼出方式を設定します。 音声方式:屋外電話機のスピーカからの「ピンホン」に続いて音声を送出します。 信号方式:「ジリリン」を送出します。